

April 20, 2011

## 復興構想検討部会 における 科学技術の活用に向けた意見集約の提案

慶應義塾大学  
神成淳司

東日本大震災の復興構想検討に際しては、「単なる復旧ではない未来志向の創造的な取組」とされ、科学技術の叡智を活かした、被災地の中長期的な発展につながる復興構想の立案が求められている。的確な科学技術の活用は、震災復興計画の全体的な予算の抑制と効果性向上が期待されるものである。現在、様々な学術研究機関等で災害復興に向けた検討が進められているが、それらはいずれも個々の分野・組織の特性に基づいたもので、全体感を持った技術活用に関する議論が不足している。

そこで、これら既存の取り組みを、総合的な観点から役立てるために、「復興構想検討部会において、復興構想に資する科学技術を広く世間から募集すること」を提案したい。

## 【募集対象】

- ◆ 構想会議、検討部会構成員
- ◆ 関連省庁（付置研究機関を含む）
- ◆ 関連学術機関・学会からの提案
- ◆ メーカー等の製造業
- ◆ 一般公募

## 【対象カテゴリーの一例】

- ◆ エコロジー（自然エネルギー等の有効活用）
  - ◇ 太陽光などの自然エネルギーの効率的かつ効果的な活用技術
  - ◇ 家庭や地域での自律的なエネルギー活用技術
- ◆ 安全
  - ◇ 瓦礫の除去に資するロボティクス技術
  - ◇ 瓦礫の防除、殺菌に資する衛生技術
  - ◇ 植物や藻などを活用した放射能汚染除去技術
- ◆ 安心
  - ◇ 国内外に安心を与えるための効果的な情報公開技術
  - ◇ 数値等の客観的指標に基づく生鮮食料品の安全性保証技術

なお、募集作業、並びに収集された内容の検討部会提出に先立つ整理のために、本検討部会のサブワーキング委員会の設置を併せて提案したい。